

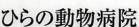
街の頼れるドクターたち

きる「1・5次診療」を目指 の必要性もきちんと判断で

―こちらを開業されたのはいつですか?

1992年ですから、ちょうど丸20年目に

正しく診断をし、高度医療



#### 区野由夫院長

中央林間駅から徒歩5分。落ち着いた町並みのなかに「ひらの動物病院」があ る。1992年の開業から、もう20年。地元になくてはならないクリニックである と同時に、腫瘍医療やがんの免疫療法など最先端医療を求めて遠方から訪れ る患者にとっては、最後の砦とも言える場所である。「本当に2次診療の必要 性があるのかどうかをきちんと判断し、適切な医療機関をご紹介できることこ そ1・5次診療であり、僕の診療スタンスです」と、穏やかに微笑むのは平野由 夫院長。高度医療センターで勤務された経験からにじみ出る言葉はどれも力 強く、動物たちを見つめる瞳は常に優しさにあふれている。飼い主である家族 に寄り添う気持ちを決して忘れることはない。「最後まで動物たち、そして飼い 主も癒し続ける医療を目指したい」という平野院長に、日々の診療で感じる思 いや高度医療を学ばれるきっかけ、今後の展望や獣医師を目指した理由など プライベートなお話まで、たっぷりと語っていただいた。

(取材日2011年01月05日)

て。やはり時の流れを感じますね。

しゃるそうですね。 先生は高度医療にも力を入れていらっ

るのか」という思いがあるのでしょうね。た いろいろと調べて、山梨や御殿場、静岡といっ が関わってきますから距離や時間は関係な いますので、そういった治療を希望される方は ですよ。例えば高度医療も実際どういうもの けなければいけないというスタンスではないの だ、僕は必ずしも、このクリニックで治療を受 く、「この子にとって一番いい医療はどこにあ た遠方からも来院されます。どうしても生死 はい。腫瘍医療やがんの免疫療法も行って

ばかりですから、以前のようにかなり病状が 防接種や定期健診をきちんと受診される方 り方も10数年前とは比べものにならないよう えていらっしゃるという感じがします。可愛が みなさん、本当にご家族の一員として温かく迎 の方が中心。一時期、大型犬ブームもありまし 地で開業を決めました。患者さんは、ここ10 なります。僕は藤沢にある日本大学の卒業。 お子さんだった飼い主さんがご自身のお子さ なくなりました。それに20年も経つと、小さい な気がします。病院にも熱心に通われて、予 たが、今はまた圧倒的に小型犬ばかりです。 年くらいは、もうワンちゃん、ネコちゃんがほ 当時、三軒茶屋にあった付属病院に通ってい 進んでしまってから来院するということは小 とんどですね。基本的にはお近くにお住まい たこともあり、どちらにも交通の便のいいこの んを連れて来院されるようになったりもし

-ペット、ご家族、先生、それぞれの関係

ます。患者であるワンちゃん、ネコちゃん、飼 く実践し、得た情報を客観的に評価して提示 い主であるご家族、そして僕の3点がそれぞ その希望されたことすらできない場合もあり 仕方を選択していただきますが、実際には、 かから自分がその子に施したい治療やケアの する、それだけなんですよ。ご家族にはそのな 僕がするのは基本的に、必要な検査を正し についてはどうお考えでしょう?

医療を求める方向に変化しているということ リニックのことを指しますが、僕の考えは少 うことを知っていて、適切な診療の受けられ えているというより、ご家族の意識が正しい も多々ありますから、まずは話を詰めること に大学病院に行くのも現実的には難しいは 題も含め、通常のクリニックではなかなかじっ で自分の子に適合するのかどうか、費用の問 る施設を選択してご紹介する、それも大事な 2次診療施設に丸投げしてしまうのではな なのだと思います。であるからこそ、なんでも の方が増えてきたのは、必要とする病気が増 こそが診療のスタート。最近、高度医療希望 もしれないし、高度医療が必要かと思ってい 理論立てて検査をし、確定診断で治療できな るかどうか、逆を言えば、1次診療で正しく ず。よく「1・5次診療」というと、2次診療 くり聞けないし、そういう話だけを聞くため 僕のスタンスですね。 できる、ここならここまでしてもらえる」とい く、本来は1次診療施設側が「どこなら何が たけれど実際には許容できないといった場合 です。近くのクリニックでできることもあるか そが1・5次診療だと僕は位置づけているの 療でできることをきちんと説明する、それこ 判断してもご家族が希望されないならー次診 いかを判断する、そして、2次診療が必要と し違います。本当に2次診療に行く必要があ 施設並みの検査機器や病院設備を揃えたク

#### ひらの動物病院

DATA

れ譲歩し、上手に着地点を見つけたのなら

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2-3-11 TEL:046-272-5300 中央林間駅/イヌ、ネコ

たとえぞれが学問的に少々ずれていたとしてたとえぞれが学問的に少々ずれていたとしては、飼い主さりット。最終的な落としどころは、飼い主さりット。最終的な落としどころは、飼い主さんがワンちゃん・ネコちゃんに何をしてあげたして、おいというエッセンスが入って決まることなのがというエッセンスが入って決まることなのがと思いますね。

### して高度医療を勉強 獣医師人生の新たな一歩と

## - 先生はずっと獣医師を目指されてい

そうですね。小さい時から動物が大好きで、犬や猫に関わる仕事といったら獣医師したい」と書き続けていました。らずっと、毎年作る文集にも「大きくなったららずっと、毎年作る文集にも「大きくなったら獣医さんになりたい」と書き続けていました。獣医さんになりたい」と書き続けていました。獣医さんになりたい」と書き続けていました。獣医さんになったというから、自分としては当たり前のように獣医師したなったというほうが正しいかもしれませんになったというほうが正しいかもしれません。

## いったことだったのでしょう? 高度医療を学ばれるきかっけはどう

実は、高度医療を学ぼうと思ったのは40歳実は、高度医療を学ぼうと思ったのは40歳ません。ごのまま終わってはまずいなと。でも、25歳で獣医師になって20年。もしかすると獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとと獣医師人生の半分くらいまできたのかなとという思いたら、このまま終わってはまずいなと。であり、自分1人で学ぶのには限界もある。それも、自分1人で学ぶのには限界もある。それも、自分1人で学ぶのには限界もある。それも、自分1人で学ぶのには限界もある。それも、自分1人で学ぶのには限界もある。それも、自分1人で学ぶのには限界もある。それ

で、どこか研修先はないかと探していたら、で、どこか研修先はないかと探していただけて。きっちょうど高度医療センターの開業を知ったのです。「勉強させてほしい」とメールを出したら、幸運なことに受け入れていただけて。きっと開業のドタバタの時期だったからこそ可能だったのでしょうね(笑)。そこで出会った先生方は、まさに最先端医療を行く優秀な方々生方は、まさに最先端医療を行く優秀な方々生方は、まさに最先端医療を行く優秀な方々生方は、まさに最先端医療を行く優秀な方々生方は、まさに最もでした。本当に多くのことを学ばせていただき、間違いなく、僕にとって大きな分岐点になったと思っています。

## - ごされているのですか?

ひ、多くの方々に、他人事と思わず、もっと関 り、ジレンマを感じることも多いんですよ。ぜ ろうと場合によってはワンちゃんたちをお預 心を持っていただけるとうれしいなあと思い ば立つほど保護が難しくなっている現状があ けなかったり、ペットたち自身も時間が経て 方があってなかなか活動が受け入れていただ 残されたペットたちを保護する活動にも参 第1原発から20キロ圏内の警戒区域に取り は違いますが、3月の震災以来ずっと、福島 大切なひとときですね。また、リフレッシュと 何でも構わない。それぞれの時間が僕にとって い始めたスポーツクラブで運動している時で なんだろうと思います。病院を離れれば気持 動物好きが幸いして、自分の時間が圧迫され 僕自身は苦になることは何もないんですよ。 つ息抜きしているの?」と聞かれるんですが、 ばなりません。よく、ほかの職業の方から「い かりしていますし、日々、入院管理もしなけれ も、中2の息子と一緒に過ごしている時でも ただ自宅のリビングでくつろいでいる時でも、 ちはリフレッシュしますから、健康のために涌 ているとも思いませんし。きっと切替え上手 こういう仕事ですから、例えば、お正月だ 何度も足を運んでいます。いろいろな考え

# 療を目指して、ペット、そして家最後まで、ペット、そして家

#### 囲気ですね。 新しい待合スペースはとても温かい雰

ちというのは、ほぼ100パーセント死期の しゃる方もいるくらいなんですよ(笑)。実は、 スを設けました。患者さん同士のサロンのよ ペースはご家族にとっての癒しの場所。「クリ 力もなくてはならないものなんです。待合る こうというのが行き着いた終着点だったのだ りない部分もあると気付きました。僕にとっ 次診療施設の医療の素晴らしさと当時に、足 の先生と充分にご相談くださいね」という話 頑張っていらしたご家族は泣き崩れ、もう後 こういうスペースを作ろうと思ったのも、2次 ら、診察の順番をとばしてください」とおっ うになっていて、「まだゆっくりしていたいか のケアを選択する方もいらっしゃいます。「痛 うからです。さまざまなご事情からご自宅で も、科学的根拠はないけれど、ご家族をケア 必要であり、カウンセリング専門の先生のお 立しないですよね?ですから、専用スペースが 同じ場所で同じ人から癒しの話をされても成 ことも多々あったのです。1年半の勤務で、2 ります。結局、「資料を持ち帰ってかかりつけ 半は聞いていただけないような状態も多くあ つを交わした数時間後には、検査を終えて告 近い病状にあることが多く、初診のごあいさ 診療施設で腫瘍医療に関わっていたことが発 2011年8月にご来院のご家族専用スペー する方法としてはきわめて有効な技術だと思 スタルヒーリング」などの講座を開いているの と思います。でも、抗がん剤の話をした直後に ニック。欠落していると感じた部分を補ってい てのホームグラウンドは間違いなくこのクリ になり、ご家族のフォローをまったくできない 知が始まるのが現実です。ずっと葛藤を抱え 端。そういう高度医療機関にかかるペットた クリニックと道路を挟んだ向かい側に、

思っています。

### メッセージをお願いします。適な生活を送っていくために、読者に動物たちの健康を守りつつ、明るく快

いと思っています。 るー・5次診療。それを貫ける施設でありた 医療を根底に、最後までワンちゃん・ネコちゃ 療の場で提供していきたい。そういった正しい の医療を、あくまでも患者さんに密着した診 専門性を一層生かし、できる限りの高いレベル がいらっしゃいます。これからも、それぞれの ていた臨床検査の先生と、専門性の高い先生 かったのなら、それが実現できる病院を探さ 合だったり、施してあげたいと思うものでな こから家族であるワンちゃんネコちゃんたち 学問的に正しい情報を提供する場であり、そ ん、ご家族のケアを続けることこそ、僕の考え 高度医療センターでも臨床検査を専門にされ を診てくださるカウンセリングの先生、そして 診る僕のほかに、ご家族のケアや癒しの部分 るはずです。当院は、トータルで患者さんを も聞きにきていただけるとうれしいですね。ご で何か手詰まり感を感じたなら、お話だけで ていますから、万が一、かかりつけのクリニック 択肢の広い獣医療を目指していきたいと思っ 新しい専用スペースも有効に生かしつつ、選 に何を施すかは、ご家族が決めるべきこと。も 行われてきたと思うのですが、本来、病院は 家族が癒される方法は、きっといろいろとあ 僕はご家族のニーズに合った医療を心掛け れたらいいと思うんです。そういう意味では し、提示されたものが自分たちにとって不都 これまでの動物医療は、ずっと病院主体で

#### 動物病院

Animals & Pets

#### Doctor's File

街の頼れるドクターたち「ドクターズ・ファイル」

